

市長から市民の皆さまへ 市長メッセージ

現在、本市を含めて全国的に、オミクロン株による第6波の新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、市民の皆さまは不安を感じておられると存じます。市として、ワクチンの3回目接種の計画的実施を含めて、新型コロナ対策に万全を期してまいります。とりわけ、市民の皆さまお一人お一人の「感染予防の徹底」と「行動抑制」が不可欠な状況です。力を合わせて、この難局を乗り越えてまいりたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ワクチンの3回目接種につきましては、国から接種間隔の前倒し方針が示され、1月から医療従事者および高齢者施設などの入所者・従事者への接種を前倒し実施しているところですが、65歳以上の高齢者の方は、2月以降「7ヵ月以上経過後」から接種が可能とされたところです。このことから、本市では、接種券を2回目接種終了の7ヵ月後を目安に発送するとともに、2月から「武田／モデルナ社製ワクチン」による集団接種および一部の医療機関（7診療所）での個別接種により、7ヵ月以上経過後に接種ができるよう準備を進めております。本集団接種は、2月5日（土）からコミュニティ防災センターで実施してまいります。なお、「ファイザー社製ワクチン」は、供給量が限られていることから、「8ヵ月以上経過後」の個別接種（41診療所）が基本となります。

今回、3回目接種のワクチンの種類は選択制ですが、「ファイザー社製ワクチン」および「武田／モデルナ社製ワクチン」はともに効果が高く、交差接種の効果も高いとされており、的確な情報提供を行うなかで、市民の皆さまが安心して、いち早く接種していただけるよう、市として鋭意取り組んでまいります。長引くコロナ禍により、心身ともに大変な思いをされている方、

生活にお困りの方などが多くと存じます。市役所の役割は、市民の皆さまの生活を支えることです。健康面や生活面などに不安をお抱えの方は、下欄の連絡先まで電話でお気軽にご相談ください。

さて、去る1月14日に、市役所新庁舎の起工式を執り行ったところです。現在の市役所本庁舎は、昭和40年に建築されたものであり、長年、耐震性不足や老朽化、また福祉部門が本庁舎とすこやかセンターに分かれていることなどが大きな課題でしたが、本市では、これまで、義務教育施設の耐震化や環境センターの更新などを優先して進めてきたところです。これらの取り組みが完了したこと、また将来の財政推計を踏まえ、財政規律を堅持しつつ、新庁舎の整備が可能であることから、これまで市民の皆さまのご意見を伺いながら、市議会と行政が両輪として議論してきた結果、今回、新庁舎の工事着工に至ったところです。

『つなぐ、守の舎』をキーワードに、災害時の中枢拠点として、また日頃から市民の皆さまの安全・安心を守り抜く拠点となるべく進めてまいります。暫定供用が令和5年9月、すべての完成が令和7年3月と長期間を要し、市民の皆さまにご迷惑、ご不便をお掛けしますが、ご理解を何卒よろしくお願い申し上げます（新庁舎整備の詳細は次号でお伝えします）。

【相談連絡先一覧】

○健康面に不安をお抱えの方

・すこやか生活課 ☎・☎(581)0201

・圏域の地域包括支援センター

南部(守山・小津学区) ☎・☎(585)9201

中部(吉身・玉津学区) ☎(584)5519

北部(河西・速野・中洲学区) ☎・☎(516)4160

○生活面に不安をお抱えの方

・生活支援相談課 ☎(582)1161

○子育て・教育面に不安をお抱えの方

・子育て応援室 ☎(582)1159

・関係する学校園

人口が8万5,000人に到達

企画政策課 ☎・☎(582)1162 ☎(582)0539 / 市民課 ☎・☎(582)1122 ☎(583)9737

1月5日に、本市の人口が8万5,000人に到達したことを記念して、「守山市人口8万5千人達成記念セレモニー」を1月11日に行いました。記念すべき8万5,000人目の市民は、1月4日かたやま あやと生まれ（1月5日出生届出）で、石田町に在住の片山 絢斗さんです。

市の人口は昭和45年7月1日の市制施行以来、京阪神への通勤圏であることや自然環境に恵まれていることから増加傾向にあり、市の将来人口を展望する「守山市人口ビジョン」の想定よりも早い時期に人口8万5,000人に到達しました。

なお、「守山市人口ビジョン」では、令和22年（2040年）に8万8,000人程度の人口規模を目指しています。

